



【発行】  
神戸市垂水区学が丘1丁目21-1  
神戸掖済会病院広報委員会  
大鶴 実  
片山 綾 森 寿子  
藤原史樹 田川明香里  
村井由香 奥田千恵美



今回は、垂水区医師会副会長であり、桃山台で奥様（小児科）とご一緒に開業されている「なかむらクリニック」の中村 治正先生のもとにお願いしました。先生は、平成21年3月より「神戸西医療・介護地域ケアネットワークの会（エナガの会）」を設立され、垂水区内の病院医師・看護師・連携スタッフ・開業医・歯科医師・薬剤師・ケアマネージャー・訪問看護師・老健施設管理者を集め、「地域で支える」ネットワーク造りにご尽力され、平成22年4月からは「垂水区医師会在宅医療介護福祉連携委員会（現：垂水区地域ケア推進検討委員会）」の中でも、職種や施設を超えた支援体制づくりを目指していらっしゃいます。現在では「神戸西医療介護地域ケアネットワークの会（エナガの会）」と「垂水区地域ケア推進検討委員会」は兵庫県在宅療養推進協議会のモデル事業となっています。またその一方で先生は、カメラで野鳥を撮影されたり奥様と一緒にテニスをされたりと、とても多趣味でいらっしゃいました。そんな中村先生にご質問です。

## 中村の先生 中村 治正先生

Q: これからの掖済会病院に期待されることは？  
A: 待望のICUの新設は、垂水区にはICUの病床が少ないため、喘息の重症発作などに対応していただけないと聞いてですね。また垂水区内にICU病床が増えるというのは、垂水区全体の医療の質の向上にも繋がるので大いに期待したいと思っています。

Q: ICU以外のことについてはいかがでしょうか？  
A: 地域連携に関して、在宅医療の後方支援病院としてのベッドの確保をして頂くとありがたいですね。病院から在宅へ、在宅から病院へという患者さんの選択肢を増やすためにも垂水区内の医院・病院が連携していくことが大切だと思います。そのためには、地域連携のための会「垂水区地域ケア推進検討委員会」にも掖済会の病院の代表者が参加してもらえればより風通しの良い関係づくりができると思います。

中村先生、お忙しい中貴重なご意見ありがとうございます。これからも期待にお応えできるよう職員一同尽力してまいります。

(看護部 片山 綾)

Q: これからの掖済会病院に期待されることは？  
A: 待望のICUの新設は、垂水区にはICUの病床が少ないため、喘息の重症発作などに対応していただけないと聞いてですね。また垂水区内にICU病床が増えるというのは、垂水区全体の医療の質の向上にも繋がるので大いに期待したいと思っています。

Q: ICU以外のことについてはいかがでしょうか？  
A: 地域連携に関して、在宅医療の後方支援病院としてのベッドの確保をして頂くとありがたいですね。病院から在宅へ、在宅から病院へという患者さんの選択肢を増やすためにも垂水区内の医院・病院が連携していくことが大切だと思います。そのためには、地域連携のための会「垂水区地域ケア推進検討委員会」にも掖済会の病院の代表者が参加してもらえればより風通しの良い関係づくりができると思います。

中村先生、お忙しい中貴重なご意見ありがとうございます。これからも期待にお応えできるよう職員一同尽力してまいります。

(看護部 片山 綾)

## 結核

**結核とは？**  
ほぼヒトのみに生息する結核菌が、飛沫感染（空気感染）でヒト-ヒト感染する伝染性疾患であり、2007年4月から施行の感染症法での扱いは2類感染症となりました。

**結核の疫学**  
感染と発病とは異なり、感染者の約1割ないし1.5割が数カ月から数十年の潜伏期間の後、発病し、自然治癒する場合がありますが、無治療では多くが死に至る慢性疾患です。HIV感染があると著しく易感染性になり、そのためアジア、アフリカを主に依然増加傾向を続け全世界で年間約880万人の新規発病があり約140万人が死亡していると推定されます。我が国の罹患者は、平成22年で約2.3万人に下がりましたが、依然死亡者は2,129人と多い事が報告されています。

**日本の結核の問題点**  
1、若者の結核に要注意 2、働き盛りの人の発見が遅れる 3、外国人の割合が拡大している 4、感染者がますます高齢化 5、地域格差がある（大都市部に多く集中） 6、HIV/AIDSとの合併の危険

**結核の病態**  
結核菌の飛沫感染により肺内に入りますが、すぐに発病するわけではなく、通常は免疫力が低下したときに発病します。初期の炎症が進むと病巣を形成して空洞化することもあります。空洞化すると結核菌の増殖しやすい条件が揃い、感染源となって他臓器に菌が波及してしまうと全身感染症となり死亡する可能性も生じます。

**結核の症状**  
咳や痰が2週間以上続いたり、全身倦怠感や体重減少があった場合に結核が疑われます。咳や痰がある場合は診察時よりマスクをつけるようにする必要があります。

**結核の診断**  
ツベルクリン反応検査：皮膚に結核菌のある成分を注射することでアレルギー反応をみるもので一般に広く用いられていますが、偽陰性が多いのが問題点です。  
クオンティフェロン検査：5歳以上に用いられ、活動性結核のみ検出できる検査で、BCG接種の影響を受けないために近年施行されるようになっています。

**菌の証明**：結核菌は長さ1~4μm、幅0.3~0.6μm（1μmは1000分の1mm）の棒状の菌で、表面はロウ状の物質の丈夫な膜で覆われ、菌同志が結合して房状になっているのが特徴です（写真参照）。分類学的にはハンセン病を起こすらい菌とともに「抗酸菌」という仲間に入ります。1mlの痰のなかに1万単位の菌があると、痰をガラス板に塗りつけ染色し、

顕微鏡で調べるだけで結核菌が検出されます（「塗抹陽性」といいます）。しかし痰に含まれる菌がそれ以下であれば「塗抹陰性」となるために、痰を培養し増殖させて、はじめて菌を証明することができます（「培養陽性」）。

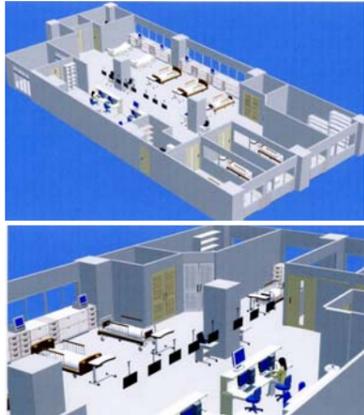
**結核の予防と治療**  
**BCG接種**：感染を受けても発病しないように免疫をつける方法で、特に子供の結核の予防に有効なことが証明され、しかも最も安全な予防接種として世界で広く用いられています。神戸市では生後3~5か月までに1回受けるように勧められています。  
**予防内服**：感染があっても発病していない場合に発病予防にイソニアジド(INH)を6カ月投与します。  
**早期発見**：発病したヒトを早期発見するために健康診断や医療機関の受診を勧められています。  
**治療法**：最新の方式はリファンピシン、ヒドラジドという2種類を軸に最初4剤、続いて2~3剤を合計6カ月使う、というものです。

これは短期に集中して治療するものですが、途中で服薬をやめる人がいることが大きな問題であり、治癒しないどころか、耐性菌を生み出し、結核菌の蔓延につながります。そこでWHO（世界保健機関）の結核対策本部では「薬を患者には手渡さないで、毎日外来に通ってもらい、職員の目の前で飲む」方式を打ち出し、これをDOTS（Directly Observed Treatment, Short course）として、結核の標準的な治療方式としました。これが次第に普及して大きな成果をあげています。

(感染対策委員兼外科医長 太田英夫)

まを収容して密度の高い医療・看護を集中的に行うことにより、少しでも救命率を上げることを目的としています。新施設の稼働により地域の医療にさらに貢献できるように努力します。神戸掖済会病院 院長 島津 敬

今後とも神戸掖済会病院をよりよくお願いします。 医長 馬屋原 拓



今年に入り工事も終盤となり、青色を基調とした内装がほぼ思い通りに出来上がってきたのを目の当たりにした時、嬉しい気持ちになりました。準備と同時に入居準備も進んでいます。これから本格的に準備が始まっていきます。新しくICUで働くスタッフと共に、患者さまを安全に受け入れたいと思います。

各科の集まるICUが病院全体の潤滑剤として、また地域の基幹病院としてその役割を果たすために、安心して入室していただくためのICUづくりを、ICUで参りたいと思っております。また、ICU開始に、微力ではありますが神戸掖済会病院を盛り上げられるように一杯務めさせていただきます。



顕微鏡で調べるだけで結核菌が検出されます（「塗抹陽性」といいます）。しかし痰に含まれる菌がそれ以下であれば「塗抹陰性」となるために、痰を培養し増殖させて、はじめて菌を証明することができます（「培養陽性」）。

## ICU 病棟 完成

平成25年4月1日(予定)

今年に入り工事も終盤となり、青色を基調とした内装がほぼ思い通りに出来上がってきたのを目の当たりにした時、嬉しい気持ちになりました。準備と同時に入居準備も進んでいます。これから本格的に準備が始まっていきます。新しくICUで働くスタッフと共に、患者さまを安全に受け入れたいと思います。

今年に入り工事も終盤となり、青色を基調とした内装がほぼ思い通りに出来上がってきたのを目の当たりにした時、嬉しい気持ちになりました。準備と同時に入居準備も進んでいます。これから本格的に準備が始まっていきます。新しくICUで働くスタッフと共に、患者さまを安全に受け入れたいと思います。

今年に入り工事も終盤となり、青色を基調とした内装がほぼ思い通りに出来上がってきたのを目の当たりにした時、嬉しい気持ちになりました。準備と同時に入居準備も進んでいます。これから本格的に準備が始まっていきます。新しくICUで働くスタッフと共に、患者さまを安全に受け入れたいと思います。

今年に入り工事も終盤となり、青色を基調とした内装がほぼ思い通りに出来上がってきたのを目の当たりにした時、嬉しい気持ちになりました。準備と同時に入居準備も進んでいます。これから本格的に準備が始まっていきます。新しくICUで働くスタッフと共に、患者さまを安全に受け入れたいと思います。

今年に入り工事も終盤となり、青色を基調とした内装がほぼ思い通りに出来上がってきたのを目の当たりにした時、嬉しい気持ちになりました。準備と同時に入居準備も進んでいます。これから本格的に準備が始まっていきます。新しくICUで働くスタッフと共に、患者さまを安全に受け入れたいと思います。

この春より当院にICUが新設されます。昨年から工事では入院中および外来通院中の皆様にご迷惑をお掛けしました。この場をお借りしてお詫言申し上げます。ICUは日本語でいうと集中治療室、その名の通り重症患者を集中的に治療/看護する部署です。ひとくちに重症といっても様々ですが、おもなところでは心筋梗塞や心不全、脳卒中、大きな手術後、人工呼吸器中などがICUで診るべき対象となります。ICUには一般病棟と比べ、より多くの医療スタッフと医療機器が配置されており、重症患者が治療を受けるのに最適な場所といえます。これまで当院では重症患者を診てこなかったという訳ではありません。これまで、ICUには重症患者であっても一般病棟で、各職員が創意工夫をしながら、それこそICUに負けないくらい安全で質の高い医療を提供してきただけの医療にまだまだ改善の余地があることも事実です。今回新設されるICUをフル活用することで、病院全体としてこれまで以上に安全で質の高い急性期医療を提供できるよう、そして地域医療の一翼をしっかりと担ってまいります。今後とも神戸掖済会病院をよりよくお願いします。

この春より当院にICUが新設されます。昨年から工事では入院中および外来通院中の皆様にご迷惑をお掛けしました。この場をお借りしてお詫言申し上げます。ICUは日本語でいうと集中治療室、その名の通り重症患者を集中的に治療/看護する部署です。ひとくちに重症といっても様々ですが、おもなところでは心筋梗塞や心不全、脳卒中、大きな手術後、人工呼吸器中などがICUで診るべき対象となります。ICUには一般病棟と比べ、より多くの医療スタッフと医療機器が配置されており、重症患者が治療を受けるのに最適な場所といえます。これまで当院では重症患者を診てこなかったという訳ではありません。これまで、ICUには重症患者であっても一般病棟で、各職員が創意工夫をしながら、それこそICUに負けないくらい安全で質の高い医療を提供してきただけの医療にまだまだ改善の余地があることも事実です。今回新設されるICUをフル活用することで、病院全体としてこれまで以上に安全で質の高い急性期医療を提供できるよう、そして地域医療の一翼をしっかりと担ってまいります。今後とも神戸掖済会病院をよりよくお願いします。

今年に入り工事も終盤となり、青色を基調とした内装がほぼ思い通りに出来上がってきたのを目の当たりにした時、嬉しい気持ちになりました。準備と同時に入居準備も進んでいます。これから本格的に準備が始まっていきます。新しくICUで働くスタッフと共に、患者さまを安全に受け入れたいと思います。

今年に入り工事も終盤となり、青色を基調とした内装がほぼ思い通りに出来上がってきたのを目の当たりにした時、嬉しい気持ちになりました。準備と同時に入居準備も進んでいます。これから本格的に準備が始まっていきます。新しくICUで働くスタッフと共に、患者さまを安全に受け入れたいと思います。

今年に入り工事も終盤となり、青色を基調とした内装がほぼ思い通りに出来上がってきたのを目の当たりにした時、嬉しい気持ちになりました。準備と同時に入居準備も進んでいます。これから本格的に準備が始まっていきます。新しくICUで働くスタッフと共に、患者さまを安全に受け入れたいと思います。

今年に入り工事も終盤となり、青色を基調とした内装がほぼ思い通りに出来上がってきたのを目の当たりにした時、嬉しい気持ちになりました。準備と同時に入居準備も進んでいます。これから本格的に準備が始まっていきます。新しくICUで働くスタッフと共に、患者さまを安全に受け入れたいと思います。

今年に入り工事も終盤となり、青色を基調とした内装がほぼ思い通りに出来上がってきたのを目の当たりにした時、嬉しい気持ちになりました。準備と同時に入居準備も進んでいます。これから本格的に準備が始まっていきます。新しくICUで働くスタッフと共に、患者さまを安全に受け入れたいと思います。

この春より当院にICUが新設されます。昨年から工事では入院中および外来通院中の皆様にご迷惑をお掛けしました。この場をお借りしてお詫言申し上げます。ICUは日本語でいうと集中治療室、その名の通り重症患者を集中的に治療/看護する部署です。ひとくちに重症といっても様々ですが、おもなところでは心筋梗塞や心不全、脳卒中、大きな手術後、人工呼吸器中などがICUで診るべき対象となります。ICUには一般病棟と比べ、より多くの医療スタッフと医療機器が配置されており、重症患者が治療を受けるのに最適な場所といえます。これまで当院では重症患者を診てこなかったという訳ではありません。これまで、ICUには重症患者であっても一般病棟で、各職員が創意工夫をしながら、それこそICUに負けないくらい安全で質の高い医療を提供してきただけの医療にまだまだ改善の余地があることも事実です。今回新設されるICUをフル活用することで、病院全体としてこれまで以上に安全で質の高い急性期医療を提供できるよう、そして地域医療の一翼をしっかりと担ってまいります。今後とも神戸掖済会病院をよりよくお願いします。

この春より当院にICUが新設されます。昨年から工事では入院中および外来通院中の皆様にご迷惑をお掛けしました。この場をお借りしてお詫言申し上げます。ICUは日本語でいうと集中治療室、その名の通り重症患者を集中的に治療/看護する部署です。ひとくちに重症といっても様々ですが、おもなところでは心筋梗塞や心不全、脳卒中、大きな手術後、人工呼吸器中などがICUで診るべき対象となります。ICUには一般病棟と比べ、より多くの医療スタッフと医療機器が配置されており、重症患者が治療を受けるのに最適な場所といえます。これまで当院では重症患者を診てこなかったという訳ではありません。これまで、ICUには重症患者であっても一般病棟で、各職員が創意工夫をしながら、それこそICUに負けないくらい安全で質の高い医療を提供してきただけの医療にまだまだ改善の余地があることも事実です。今回新設されるICUをフル活用することで、病院全体としてこれまで以上に安全で質の高い急性期医療を提供できるよう、そして地域医療の一翼をしっかりと担ってまいります。今後とも神戸掖済会病院をよりよくお願いします。

今年に入り工事も終盤となり、青色を基調とした内装がほぼ思い通りに出来上がってきたのを目の当たりにした時、嬉しい気持ちになりました。準備と同時に入居準備も進んでいます。これから本格的に準備が始まっていきます。新しくICUで働くスタッフと共に、患者さまを安全に受け入れたいと思います。

今年に入り工事も終盤となり、青色を基調とした内装がほぼ思い通りに出来上がってきたのを目の当たりにした時、嬉しい気持ちになりました。準備と同時に入居準備も進んでいます。これから本格的に準備が始まっていきます。新しくICUで働くスタッフと共に、患者さまを安全に受け入れたいと思います。

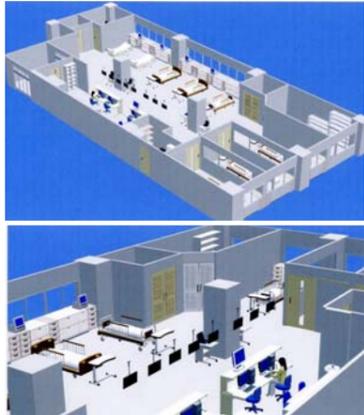
今年に入り工事も終盤となり、青色を基調とした内装がほぼ思い通りに出来上がってきたのを目の当たりにした時、嬉しい気持ちになりました。準備と同時に入居準備も進んでいます。これから本格的に準備が始まっていきます。新しくICUで働くスタッフと共に、患者さまを安全に受け入れたいと思います。

今年に入り工事も終盤となり、青色を基調とした内装がほぼ思い通りに出来上がってきたのを目の当たりにした時、嬉しい気持ちになりました。準備と同時に入居準備も進んでいます。これから本格的に準備が始まっていきます。新しくICUで働くスタッフと共に、患者さまを安全に受け入れたいと思います。

今年に入り工事も終盤となり、青色を基調とした内装がほぼ思い通りに出来上がってきたのを目の当たりにした時、嬉しい気持ちになりました。準備と同時に入居準備も進んでいます。これから本格的に準備が始まっていきます。新しくICUで働くスタッフと共に、患者さまを安全に受け入れたいと思います。

まを収容して密度の高い医療・看護を集中的に行うことにより、少しでも救命率を上げることを目的としています。新施設の稼働により地域の医療にさらに貢献できるように努力します。神戸掖済会病院 院長 島津 敬

今後とも神戸掖済会病院をよりよくお願いします。 医長 馬屋原 拓



今年に入り工事も終盤となり、青色を基調とした内装がほぼ思い通りに出来上がってきたのを目の当たりにした時、嬉しい気持ちになりました。準備と同時に入居準備も進んでいます。これから本格的に準備が始まっていきます。新しくICUで働くスタッフと共に、患者さまを安全に受け入れたいと思います。

今年に入り工事も終盤となり、青色を基調とした内装がほぼ思い通りに出来上がってきたのを目の当たりにした時、嬉しい気持ちになりました。準備と同時に入居準備も進んでいます。これから本格的に準備が始まっていきます。新しくICUで働くスタッフと共に、患者さまを安全に受け入れたいと思います。

今年に入り工事も終盤となり、青色を基調とした内装がほぼ思い通りに出来上がってきたのを目の当たりにした時、嬉しい気持ちになりました。準備と同時に入居準備も進んでいます。これから本格的に準備が始まっていきます。新しくICUで働くスタッフと共に、患者さまを安全に受け入れたいと思います。

今年に入り工事も終盤となり、青色を基調とした内装がほぼ思い通りに出来上がってきたのを目の当たりにした時、嬉しい気持ちになりました。準備と同時に入居準備も進んでいます。これから本格的に準備が始まっていきます。新しくICUで働くスタッフと共に、患者さまを安全に受け入れたいと思います。

この春より当院にICUが新設されます。昨年から工事では入院中および外来通院中の皆様にご迷惑をお掛けしました。この場をお借りしてお詫言申し上げます。ICUは日本語でいうと集中治療室、その名の通り重症患者を集中的に治療/看護する部署です。ひとくちに重症といっても様々ですが、おもなところでは心筋梗塞や心不全、脳卒中、大きな手術後、人工呼吸器中などがICUで診るべき対象となります。ICUには一般病棟と比べ、より多くの医療スタッフと医療機器が配置されており、重症患者が治療を受けるのに最適な場所といえます。これまで当院では重症患者を診てこなかったという訳ではありません。これまで、ICUには重症患者であっても一般病棟で、各職員が創意工夫をしながら、それこそICUに負けないくらい安全で質の高い医療を提供してきただけの医療にまだまだ改善の余地があることも事実です。今回新設されるICUをフル活用することで、病院全体としてこれまで以上に安全で質の高い急性期医療を提供できるよう、そして地域医療の一翼をしっかりと担ってまいります。今後とも神戸掖済会病院をよりよくお願いします。

この春より当院にICUが新設されます。昨年から工事では入院中および外来通院中の皆様にご迷惑をお掛けしました。この場をお借りしてお詫言申し上げます。ICUは日本語でいうと集中治療室、その名の通り重症患者を集中的に治療/看護する部署です。ひとくちに重症といっても様々ですが、おもなところでは心筋梗塞や心不全、脳卒中、大きな手術後、人工呼吸器中などがICUで診るべき対象となります。ICUには一般病棟と比べ、より多くの医療スタッフと医療機器が配置されており、重症患者が治療を受けるのに最適な場所といえます。これまで当院では重症患者を診てこなかったという訳ではありません。これまで、ICUには重症患者であっても一般病棟で、各職員が創意工夫をしながら、それこそICUに負けないくらい安全で質の高い医療を提供してきただけの医療にまだまだ改善の余地があることも事実です。今回新設されるICUをフル活用することで、病院全体としてこれまで以上に安全で質の高い急性期医療を提供できるよう、そして地域医療の一翼をしっかりと担ってまいります。今後とも神戸掖済会病院をよりよくお願いします。

今年に入り工事も終盤となり、青色を基調とした内装がほぼ思い通りに出来上がってきたのを目の当たりにした時、嬉しい気持ちになりました。準備と同時に入居準備も進んでいます。これから本格的に準備が始まっていきます。新しくICUで働くスタッフと共に、患者さまを安全に受け入れたいと思います。

今年に入り工事も終盤となり、青色を基調とした内装がほぼ思い通りに出来上がってきたのを目の当たりにした時、嬉しい気持ちになりました。準備と同時に入居準備も進んでいます。これから本格的に準備が始まっていきます。新しくICUで働くスタッフと共に、患者さまを安全に受け入れたいと思います。

今年に入り工事も終盤となり、青色を基調とした内装がほぼ思い通りに出来上がってきたのを目の当たりにした時、嬉しい気持ちになりました。準備と同時に入居準備も進んでいます。これから本格的に準備が始まっていきます。新しくICUで働くスタッフと共に、患者さまを安全に受け入れたいと思います。

今年に入り工事も終盤となり、青色を基調とした内装がほぼ思い通りに出来上がってきたのを目の当たりにした時、嬉しい気持ちになりました。準備と同時に入居準備も進んでいます。これから本格的に準備が始まっていきます。新しくICUで働くスタッフと共に、患者さまを安全に受け入れたいと思います。

今年に入り工事も終盤となり、青色を基調とした内装がほぼ思い通りに出来上がってきたのを目の当たりにした時、嬉しい気持ちになりました。準備と同時に入居準備も進んでいます。これから本格的に準備が始まっていきます。新しくICUで働くスタッフと共に、患者さまを安全に受け入れたいと思います。

当院は敷地内禁煙となっております。



## クラシック&クリスマスコンサート 開催

平成24年10月5日(金)にクラシックコンサートを、平成24年12月14日(金)にクリスマスコンサートを当院1階エントランスホールにてそれぞれ開催しました。今回の出演者は神戸学院大学管弦楽団や、一般ボランティアの参加があり、クラシックや童謡、歌謡曲など色んな楽曲を演奏していただきました。参加者の大多数は入院患者さまでしたが、目を閉じて聴き入ったり、一緒に口ずさんだりそれぞれ楽しんでいただけたかと思います。ただ、今回は聞いて頂くだけの形だったので次回は一緒に合唱したり、リクエストをして演奏してもらったり等の参加形式にすれば、もっと楽しんで頂けるのかも知れません。どなたさまも参加自由ですので、是非次回開催の際はご参加下さい。心よりお待ちしております。(事務部 村井 由香)



平成24年10月5日(金)にクラシックコンサートを、平成24年12月14日(金)にクリスマスコンサートを当院1階エントランスホールにてそれぞれ開催しました。今回の出演者は神戸学院大学管弦楽団や、一般ボランティアの参加があり、クラシックや童謡、歌謡曲など色んな楽曲を演奏していただきました。参加者の大多数は入院患者さまでしたが、目を閉じて聴き入ったり、一緒に口ずさんだりそれぞれ楽しんでいただけたかと思います。ただ、今回は聞いて頂くだけの形だったので次回は一緒に合唱したり、リクエストをして演奏してもらったり等の参加形式にすれば、もっと楽しんで頂けるのかも知れません。どなたさまも参加自由ですので、是非次回開催の際はご参加下さい。心よりお待ちしております。(事務部 村井 由香)



# 本年も宜しくお願いいたします

## 内科

**島津 敬** 院長  
一般、循環器

**林 秀幸** 部長  
消化器

**川添 智太郎** 医長  
消化器

**近藤 天韻** 医長代理  
腎臓

**勝野 広嗣** 医員  
消化器

**河中 真紀** 医員  
消化器

**深川 真希** 医長  
糖尿病

**小川 雄史** 医員  
消化器

**浅野 晴紀** 医員  
消化器

## 整形外科

**藤本 真弘** 副院長

**木澤 卓嗣** 医長

**尾崎 卓郎** 医員

**町田 明敏** 部長代理

**小橋 潤己** 医長

**林 伸** 医員

## 眼科

**周 允元** 医長代理

**八木 淳子** 医員

## 循環器内科

**藤 久和** 部長

**森 可智** 医長

**林 秀行** 医員

**青木 和浩** 医長

**半田 充輝** 医長

**中ノ瀬 晃一** 医員

## 小児科

**村上 龍助** 副院長

**山岡 利佳** 部長

**坂口 美奈子** 部長

**山内 裕美子** 医員

## 脳神経外科

**野垣 秀和** 部長

**中嶋 千也** 医長

**安尾 健作** 医長

## 皮膚科

**住田 奈穂子** 医長

## 放射線科

**池田 幸央** 部長

## 外科

**安田 青兒** 名誉院長

**川崎 靖仁** 診療局長

**平岡 邦彦** 部長

**太田 英夫** 医長

**片山 智博** 医員

**大鶴 実** 副院長

**篠崎 幸司** 部長

**石井 孝明** 医長

**町田 智彦** 医長

## 泌尿器科

**宮崎 治郎** 部長

**稲葉 洋子** 副部長

## 産婦人科

**加藤 俊** 部長

**八田 幸治** 医員

**小島 洋二郎** 医長

**吉村 真由美** 医員

## 麻酔科

**馬屋原 拓** 医長

**西山 淳二** 医員

**福岡 良佑** 医員

**真弓 研作** 医員

## 研修医

**高田 良平** 駒井 崇紀

**高橋 尚子** 牛尾 和弘

**栗田 一市** 脇田 直人



## たんぼぼの会

11月3日秋晴れの中、今年も「たんぼぼの会」を開催することが出来ました。

例年になく多くの方の参加を頂くことが出来たこの会は、年1回排尿・排便の排泄経路を変更しストーマを造設した患者さまとご家族の方に参加して頂き、私たちスタッフからのストーマに関する情報提供、メーカーからの商品紹介、茶話会を通じ交流を深める情報交換の場としていただいております。

今年はオストミー協会のアンケートでも多くの方が不安に感じておられる「ストーマの管理が将来出来なくなったときに利用できるサービスとその窓口の紹介」「ストーマ器具装着時のおい対策について」を論題にかかげ、患者さまが日常生活に支障がなく、また将来の不安を払拭して頂けるよう取り組みました。

また高齢化社会に突入し、老老介護が問題になっている現在、日々の看護を行っている中で介護保険や介護サービスについて質問されることが多くなっています。

しかし、情報提供する立場にある私達の知識が浅いため十分なお答えをお返し出来ない場面も沢山ありました。このような中で今回「たんぼぼの会」を準備するに至り、情報を集め、学びを深める良い機会となりました。

会を終え患者さまから今年のテーマは良かった、また参加したいと言葉を頂くことができました。

来年は10回目の記念の年になります。会をより良いものにするため心新たに皆さんの期待に添えるような情報発信が出来るよう取り組んで参りたいと思います。(看護師 若林 佳代)



## ～ 研修会を終えて ～

平成24年度クリティカルケア研修が終了しました。半年間かけて行われた研修、事例発表も無事に終えることができほっとしています。

25年度より当院でもICUが開設される中で、単科のみの知識だけではいけないと思い参加しましたが、研修が始まると自分の知識のなさや求められるレベルの高さに正直最後までやりきれない不安でした。

しかし、実習を重ねていく中で急変の患者さまや重症の症例と照らし合わせながら勉強をすることで少しずつ理解できるようになっていきました。

実習では、アンギオ室、IVR、内視鏡、救急に加え他病棟と通常業務ではあまり携わることのない部署に行き実習を行いました。

実際の看護業務を行っていく毎日だと1人の患者さまの身体アセスメントを突き詰めて行う時間をあまりとることができませんでしたが、今回の研修を受けることで自分から積極的に学ぶ姿勢やアセスメントを行う

よいきっかけとなりました。

来年度は実行委員となり研修生に教えていく立場となりますが、研修修了者として恥じないように知識を身につけクリティカルケアに携わっていきたいと思います。

(看護師 島岡 正晴)



## 看護教育研修プログラム

## クリティカルケア看護

去る10月8日(月)「しあわせの村」にて糖尿病患者さまのため行われております「ウォークラリー」に参加いたしました。

「ウォークラリー」とは、数名のグループでコマ図に従ってチェックポイントを探し、クイズを解きながら楽しく歩く歩数が高得点となります。この糖尿病患者さまのための「ウォークラリー」には、糖尿病患者さまとそのご家族、友人の方にも参加いただけ、神戸市内の糖尿病関連施設から多くの方が参加されました。当院からは、患者さまとそのご家族が12名、深川 実 先生はじめスタッフが15名、計27名が参加しました。

当日は快晴で歩くのに丁度よい気候でしたが、距離は5kmとやや少なめですが、出発時・チェックポイント・終了時に血糖測定を行い、チェックポイントで輪投げなどのゲームを行い合計点を競いました。

チェックポイントでの血糖測定の間では、表示された血糖値をみて安心したり、驚いたり見られていました。

ご夫婦で参加されている方も数組いらっしゃいました。仲の良さが微笑ましかったです。夫もあ天下のような一面が見られ、患者さまの私達が拝見している様子も宝探しをされている様子で、私達も宝探しをしていました。

最後、今大会では被済会病院は2チーム参加した内、1チーム中2位となりました。(看護師 宇仁三千代)



## 特集 糖尿病 第5回 ～血糖値～

「病」の患者さまが適応です。日常生活には、服薬・食事内容・運動などの指導、運動指導の際には、糖尿病療養指導士が解析結果をもとに患者さまに詳しく説明していただきます。1日のうちでこの時間帯が、血糖値が高いのか。「寝ている間に低血糖を起していたのね。」などの声が患者さまから聞かれ、連続した血糖値を測定可能なこの機械は大変有用な機械であると感じています。検査が必要な患者さまがおられましたら、糖尿病内科までご紹介ください。(検査部 宮地千栄子)

近年、血糖値を継続的に測定可能な機械が開発され、糖尿病患者さまの血糖コントロールに大変役立つといわれています。当院にも2種類の持続的血糖測定機械がありますので、紹介させていただきます。「G.O.L.D」という機種はタバコ1箱分ほどの大きさで、当院ではおにも入院患者さまに使用しています。センサーを装着した状態で、患者さまの目の前で、血糖値の変動を随時解析し説明しています。またインスリンポンプ導入時の調整にも使用しています。

もう一方の「iPro2」という機種は、500円硬貨大の大きさで、小型なことで、複雑な操作が必要ないので、おにも外来患者さまに使用しています。

装着時の違和感が少なく患者さまにも好評です。装着方法は、腹部などにセンサーを穿刺後、機械と接続し、3～5日程度留置します。センサーを穿刺する際は怖がられる患者さまも、再度検査するときは抵抗感がずいぶん少なくなっています。シャワー浴も可能です。

「低血糖発作を繰り返す2型糖尿病」、「治療方針策定のための1型糖尿病」

